

資料 NO.1-4

## 令和元年度政策トライアル枠予算の成果検証

令和2年3月2日  
交流文化部

	部局名	所属名	事業内容（トライアル予算）	事業費 (千円)	令和2年度当初予算（案）への反映状況	事業費 (千円)
1	文化交流部	ブランド課	開館20周年に向けて公立の博物館としては全国初となる旅行情報誌「るるぶ福井県立恐竜博物館」の発行により、その魅力を国内外に発信	2,970	④恐竜博物館の魅力発信・環境向上プロジェクト (「るるぶ福井県立恐竜博物館」ダイジェスト版の制作・配布) 公立の博物館としては全国初となる恐竜博物館単独での旅行情報誌「るるぶ 福井県立恐竜博物館」発行の公表により話題性を創出。この話題性を活かし、恐竜博物館の開館20周年となる令和2年度は、さらにダイジェスト版を制作・配布	5,972
2	文化交流部	ブランド課	著名な料理人等を招聘した料理イベントを開催し、福井の食の魅力を発信	2,968	④北陸新幹線沿線地域と連携した福井の食魅力向上・発信事業 1月に著名料理人を招き、産地視察を実施。本県の食や伝統工芸品の魅力をPRし、好評を得たほか、3月に料理イベント開催。 令和2年度は北陸新幹線沿線地域や県内において著名シェフと本県の料理人が協働で料理イベント等を開催し、継続的な交流につなげていく。	9,264
3	文化交流部	ブランド課	歴史、旅行が好きな年配男性をターゲットとした雑誌へのタイアップ記事掲載	3,570	④大河ドラマ主人公・明智光秀を活用したPR事業 リーフレットの追加を求める声があるなど反響が大きい。このため、令和2年度は、明智光秀と本県のつながりについて、雑誌へのタイアップ記事掲載やウェブによる情報発信を実施	20,950
4	文化交流部	ブランド課	歴史、旅行が好きな年配男性をターゲットとしたウェブなどによる情報発信	2,374		
5	文化交流部	定住交流課	デザインやものづくりに関心のある県外の学生・社会人を対象に、丹南エリアのものづくり企業や工房等を案内し、若者のU Iターンを促進	1,046	④「産地合説」開催事業 伝統工芸や地場産業に関心のある県外の学生・若者を対象に、県内での見学会や仕事体験、地元との交流を通じてU Iターンを促進。18名の応募があり、うち13名が就業体験に参加しており、興味を持つ学生・若者が多いことがわかった。 令和2年度は若狭エリアを追加し、食や観光などの分野に関心がある学生・若者を取り込む。	2,251

部局名	所属名	事業内容(トライアル予算)	事業費(千円)	令和2年度当初予算(表)への反映状況	事業費(千円)
6 交流文化部	観光誘客課	ふくいドットコムインバウンド向けHPについて、掲載コンテンツおよび機能面などでの調査やコンサルティングを委託	2,000	④福井県インバウンド向けホームページリニューアル事業 調査の結果、本県が持っている観光素材は、外国人に対して十分な訴求力を持つが、国・地域によって興味を持つ対象が違うこと、日本語をベースにした翻訳では外国人の共感を得られにくいこと等がわかつた。 令和2年度においては、ふくいドットコムのインバウンド向けのページについて、外国人目線でのコンテンツの充実や、旅行行程を簡単に作成できる機能（ルートクリエイション機能）を整備	33,000
7 交流文化部	新幹線開業課	新幹線開業に向けた県内の機運醸成を図っていくためのアンケート調査などをを行い、令和2年度以降のPRに反映させる。	990	⑤北陸新幹線開業に向けたおもてなし機運醸成事業 実施したアンケートによれば、北陸新幹線福井・敦賀開業の県内認知度が十分でないため、県内PRの強化が必要。また、記念撮影用のPRパネルを設置したところ、SNSによる更なる情報発信につながったため、県内イベントを活用して、新幹線開業をPRする広報キャラバンを実施	13,478
8 交流文化部	文化課	大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせて、のぼりや説明板を設置するとともに、着地型ツアーを造成し、本県と明智光秀の関係を全国に発信	2,204	⑥大河ドラマ「麒麟がくる」情報発信事業 着地型ツアーに定員30名を超える申込があるなど反響が大きい。このため、令和2年度は、明智光秀と本県のつながりについて、展示会、トークショー等により情報発信	11,553
9 交流文化部	文化課	自由に弾けるピアノを駅構内に設置・無料開放し、利用実態を調査するとともに、記念コンサートを実施	1,208	⑦まちかど幸福ピアノ設置事業 設置後10日間（12/22～31）で200人以上が利用しており、引き続き設置を求める声も多いことから、令和2年度も設置を継続しメンテナンスを実施	506
10 交流文化部	スポーツ課	大会誘致に係る中央競技団体等への要請活動を競技団体に委託し、全国大会誘致活動を推進	400	⑧スポーツイベント開催事業 (観戦型イベントの誘致活動支援) 誘致活動の結果、トップアスリートの出場について本人の内諾を得ることができ、観戦型スポーツイベントの誘致に向け、効果がみられた。 このため、令和2年度も継続して大規模スポーツイベントの誘致活動を支援する。	11,358
合 計			19,730	合 計	108,332